

10月12日2、3年生の看護医療類型の生徒に対して医師で兵庫県教育委員をされている空地顕一委員に来ていただき、社会保障制度について、外国との比較から今後の日本でどのように考えていかを話していただきました。日本の保険制度は国民皆保険となっており、医療費の負担など保険に入ることによって負担が軽減されています。そのことによって体調不良の際に病院に行きやすくなり、重篤にならないうちに治療が



できます。海外では保険料が高く、未加入の方が多く国もあり、海外で病院に行くとかかなりの金額を請求されたという例もあるようです。今後、人口減に伴いどういったことがこの保険制度に影響してくるかは今一度真剣に考えなければならず、働く世代に比べ高齢者が増えてくると、その負担感は大きくなっていきます。そういった問題を取り上げて、将来医療関係の仕事に就こうと考えている類型の生徒たちに話をされました。謝辞は生徒代表の森岡君が述べてくれました。諸外国との比較をしてみると日本の医療制度、保険制度を理解しやすいだけでなく、現在の新型コロナ対応への医療機関の頑張りなどもよく見えてきました。お忙しい中ありがとうございました。

同じ時間帯に他の3年生のクラスでは年金事務所の方に来ていただき、年金セミナーが行われました。県下各地域の事務所から駆けつけていただき、動画を見ながら税金の使われ方や支払い義務など、退職後の生活に必要な年金について、どのように考えていかねばならないかを教えていただきました。今はあまりピンとこないかもしれませんが、現高校3年生が65歳になる頃など到底想像もできません。しかしながらいずれはやってくる高齢者の生活、退職後の生活に向け何を準備して、どう申請していくかなど関心を持つことも大事です。18歳成年年齢引き下げに伴い、考えることは多くなりますが、責任を果たせるようにしっかりとした考えを持ち、まずは社会に出る準備を進めてください。よろしくお願いします。



10月13日の1年生普通科総合的な探究の時間に、秋から取り組む加東市のまちづくりについて、観光の考え方を一般社団法人加東市観光協会の阿江事務局長に話をしていただきました。人口減による税収の減少を観光でお客様を呼び込んで買い物や施設利用等で消費していただくことで補おうという考えから新型コロナ前はインバウンドで外国人観光客誘致に全国の各市町は取り組んでいました。先日から規制も緩くなり、以前のように完全に戻らないにしてもその期待は膨らんでいることと思います。同時に国内の観光客にたくさん来ていただくことを考えたときに、加東市の魅力をどのように伝えていかを考えなくてはなりません。そのことがきっかけで移住という事にもつながれば、人口減に少しでも歯止めがかかるといえるものです。加東市の魅力発見と同時に、発信をしていくための方法を高校生目線で考えてください。数年前にホテルニュー淡路社長の話を聞いたことがありますが、明石大橋ができたことで便利になった反面、日帰りで阪神間から行けるようになったことから宿泊客を呼び込むための魅力発信として、昼ご飯の特別感を出すことでピーターを増やすことを考えたと話されていました。一気に仕上げるのではなく、段階を踏み更に島全体で取り組むためにホテル、観光業界で協力し合ったとも話されていました。自分の利益だけを考えずに地域全体の利益を考慮することで、自分も地域も潤っていくという考え方にとても感動しました。多くの人の意見を聞き、全員の希望を叶えられればそれに越したことはないのですが、なかなかうまくいかないこともあります。そのバランスはとても難しいものかもしれませんが、地域の収益を優先し、地域のサービスが充実するようになれば住みよい町になるはずですよ。今からそういったことを考え、人口減、高齢化社会、少子化といった課題多き今後に立ち向かい、解決方法を見いだしていきましょう。地域で頑張っている人はたくさんいます。そういった方々に話を聞きながら高校生としての視点で自分たちの将来を描きつつ、良い提案を考えて欲しいと思います。頑張ってください。

それでは17日からは中間考査です。1年生の文理選択、2年生の科目選択、3年生の進路実現にとっては重要な時期です。体調を整え、学習時間の確保と学力の定着を図りましょう。